

# 立教学院 環境レポート

vol.7

2024年7月  
立教学院 省エネルギー推進連絡会 発行



## 立教学院の環境配慮に関する方針、及び取り組み

本学院の環境保全活動は、「立教学院 省エネルギー推進連絡会」において、以下の方針のもと、各取り組みを推進しています。

ここでは、2022年度および2023年度の取り組み事例、エネルギー使用量や、排出量等の推移について報告いたします。

地球環境の保全については、行政や企業がそれぞれの目標を設定して対策を講じるだけでなく、私たち一人一人が日常的に小さな対策を意識し実践していくことが大切です。皆さまの環境保全に向けた意識がさらに向上するよう、今後も活動を進めて参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### 立教学院 環境保全の 取り組み方針

1. 環境に配慮した施設・設備の導入
2. エネルギー使用量の削減
3. 廃棄物・資源のリサイクル率向上
4. 化学物質等の適正管理
5. 進捗確認や啓発活動等の推進



## 2022年度・2023年度のCO<sub>2</sub>排出量の概況

### 本学院の対比、排出量削減状況

2022年度は環境証書付の電気需給契約を締結により、対前年比で82%削減を実現しましたが、2023年度は特高、高圧電力契約について低炭素電力の導入を見送ったため、増加しました。

単位:t-CO<sub>2</sub>

校地	2022年度 非化石証書適用	2023年度	増加量
池袋	1,241	8,932	+7,691
新座	977	4,631	+3,654
その他(※1)	18	286	+268
合計	2,236	13,849	+11,613

※1 その他は富士見、横須賀、上大崎が該当する。



## 2023 年度における取り組み事例

### (1) エネルギー使用量の削減

節電・節水・節ガスに向けた取り組み（全学院）

集中リモコンによるスケジュール・温度設定管理、現場巡回による使用していない教室などの照明・空調のスイッチオフ、またクールビズ、ウォームビズの実践、スイッチ周辺に節電・節水協力のステッカー貼付等の啓発活動を継続しています。

### (2) 廃棄物・資源のリサイクル率向上

1) ゴミの分別方法などの見直し（立教大学）

2017 年度に実施した、ゴミの分別方法などの変更の結果、さらなる課題が抽出され、この課題を解決するため、適正な分別方法を周知するためのポスターを新たに貼付けるとともに学内において回収した後のゴミの仕分けを開始しました。リサイクル率は 62%（2021 年度は 62%、2022 年度は 64%）で、2023 年度の廃棄物のリサイクル率は前年度対比で横ばいとなっています。

2) 落葉の処分（立教大学・新座キャンパス）

秋～冬に発生する大量の落ち葉について、新座・富士見市については複数の個人の協力のもと無償で引き取っていただいております。今後も継続していただく予定です。これらの落葉は堆肥化（腐葉土）され、リサイクルされています。

### (3) 化学物質等の適正管理

1) 化学物質など

教育・研究で使用する化学物質及び排水処理について、法規を厳守した基準・マニュアルに準拠し、年間を通じて適正に管理しています。化学物質については、購入・使用・廃棄を一元管理する薬品管理システムを導入し、定期的に棚卸を実施して適正かつ厳正な管理を継続しています。

2) ポリ塩化ビフェニル (PCB) 汚染物

各校全ての PCB 汚染物については、法規を厳守し、適正かつ厳正に管理しています。2022 年度には、新たに発覚した高濃度 PCB を全て処理を完了させ、2024 年 6 月に低濃度 PCB も全て廃棄処理を完了させました。現在は高濃度、低濃度ともに PCB の保管はありません。

3) 吹き付けアスベストなど

使用されているアスベストなどの全ての箇所について、封じ込め・囲い込み措置を行い、現在飛散はありません。また措置済みの箇所は定期的な目視点検及び粉塵濃度測定を実施し、飛散状況の確認を継続しています。今後も定期的な点検・測定を継続し、適宜、適切な対策などを講じていきます。

### (4) 進捗確認や啓発活動等

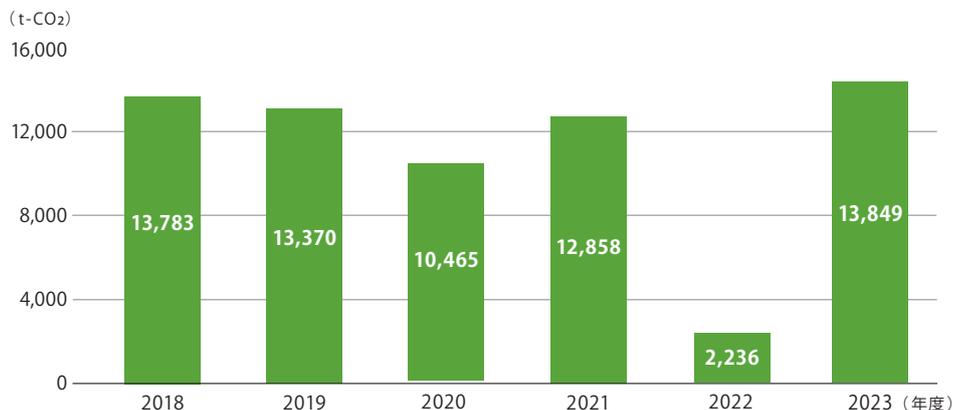
省エネルギー推進連絡会は設立以来、関係各校等で年度ごとに設定した取り組み目標について共有しています。定期的に各校の進捗状況を報告し、課題や改善点についても相互に確認・点検を行っています。



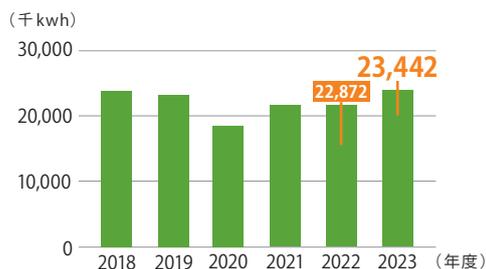
## CO<sub>2</sub>排出量、エネルギー使用量・廃棄物使用量の推移

2022年度は使用する電力をすべて環境証書付電力需給契約としたことで実質的に再生可能エネルギーに切り替え、大幅にCO<sub>2</sub>を削減しました。2023年度は低炭素電力の導入を低圧電力のみに変更したことからCO<sub>2</sub>削減量が前年比で増加しました。今後も再生可能エネルギーの積極的な導入や、空調機や照明器具の更新を年次的に進め、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めていきます。

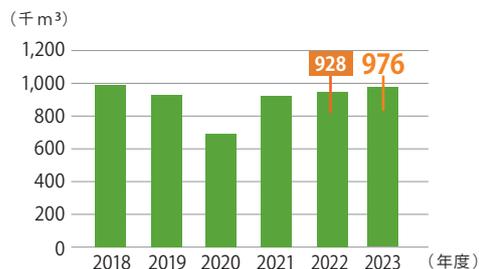
### CO<sub>2</sub>排出量



### 電気使用量



### ガス使用量



### 水道使用量



### 廃棄物排出量

